

袋井市議会からの意見書（要旨）

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度の創設を求める意見書

我が国の難聴者率は、欧米諸国と比べても大差はないが、補聴器の使用率は欧米よりかなり低い状況にあり、速やかな普及が望まれるものの、国の補助対象は身体障害者福祉法に規定する重度・高度の難聴者に限られているのが現状である。

補聴器は高額な上に保険の適用がなく、加齢性難聴者に対する公的支援制度もないため利用者の負担が大きくなり、普及が進まない要因となっている。補聴器のさらなる普及は、高齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながるものと考えられる。

よって、国においては、加齢性難聴者の補聴器購入について、全国統一の公的支援制度を創設されるよう強く要望する。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官 あて

養護教諭の配置基準の見直しを求める意見書

我が国の小中学校等に配置の養護教諭は、学校内でのけがの処置や児童生徒への保健指導、健康相談をはじめ、身体測定や予防接種などの保健計画や保健室の管理運営を担当しており、学校運営の中において大きな役割を果たしている。

現在の複雑な社会環境の中で育った子どもたちの「心と体の健康」を保障するため、養護教諭が健康教育へ積極的に関わる必要もあり、複数配置の促進を求める声は高まっている。

しかしながら、国の養護教諭の複数配置基準は、小学校では児童851人以上、中学校では生徒801人以上が条件となっており、複数配置は困難な状況にある。

よって、国においては、養護教諭がきめ細やかに子どもたちに接することができ、安心安全な教育環境を確保するため、養護教諭の複数配置基準を小中学校ともに500人以上に引き下げられるよう強く要望する。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官 あて

議会改革度ランキング 全国1,416議会中総合第61位

本市議会では、より良い議会運営を目指して、議会改革に取り組んでいます。早稲田大学マニフェスト研究所が行った、議会改革度調査2022において、本市議会は、県内35市町中総合第2位、全国総合第61位となりました。（調査対象議会は全地方議会の79%にあたる1,416議会）

今回は、前年の調査と比べ特に機能強化において向上し、前年を大幅に上回る結果（前年は全国総合第301位）となりました。今後におきましても、市民に信頼される議会を目指してまいります。

春とともに暮らしも暖かく

コロナと物価の高騰で笑顔が少なくなってしまう昨年でしたが、春が来て木々の緑が若草色に色づく、暖かな季節になりました。物価上昇の勢いも穏やかになり、笑顔が多くなる生活が戻ってくることを期待しています。子育て支援、生活支援などの充実で笑顔の生活が戻るよう頑張ります。

（広報委員：竹村真弓）

スマイル・スマイル



©袋井市

5月市議会 臨時会

6月市議会 定例会のお知らせ

場所 市役所5階議場及び各委員会室

時間 午前9時から

日程 【5月市議会臨時会】

5月15日（月）

【6月市議会定例会】

6月 5日（月）開会、議案の説明

13日（火）市政に対する一般質問

14日（水）市政に対する一般質問

15日（木）市政に対する一般質問

19日（月）議案の審査（常任委員会）

20日（火）議案の審査（常任委員会）

29日（木）委員長報告～採決、閉会

※変更となる場合もあります

ふくろい市議会だより

〒437-8666 袋井市新屋一丁目1番地の1 No. 87



TEL.(0538)44-3143(直通) FAX.(0538)44-3148
ホームページ <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
メールアドレス gikai@city.fukuroi.shizuoka.jp
発行/静岡県袋井市議会 発行日/令和5年5月1日

